



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東
 コード番号 5976 URL http://www.k-neturen.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 溝口 茂
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長(氏名) 青井 隆明 (TEL) 03-3443-5441
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	39,019	11.2	2,526	4.3	3,046	6.6	1,664	△17.2
2018年3月期第3四半期	35,096	16.3	2,421	48.6	2,858	40.8	2,010	33.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 878百万円(△75.4%) 2018年3月期第3四半期 3,568百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	40.59	—
2018年3月期第3四半期	48.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	82,081	65,941	72.5
2018年3月期	82,110	66,120	72.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 59,521百万円 2018年3月期 59,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2019年3月期	—	12.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.2	3,700	1.2	4,100	△1.6	2,500	△16.8	60.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期3Q	43,790,500株	2018年3月期	43,790,500株
2019年3月期3Q	2,783,507株	2018年3月期	2,782,916株
2019年3月期3Q	41,007,216株	2018年3月期3Q	41,389,437株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。また、世界経済は、米中貿易摩擦などに端を発した景気悪化の懸念から先行きは不透明な状況となっておりますが、米国や欧州においては比較的堅調に推移し、中国においては建機需要に繋がるインフラ投資や、工作機械及び産業機械向けのロボット・通信関連需要が拡大しました。

このような状況のもと、当社グループは、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」（2018年4月より2021年3月までの3ヵ年計画）に掲げた基本方針である「新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入」、「現在と将来を担うグローバル人財の確保と育成」、「安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築」を推進し、企業価値の向上を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は39,019百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益は2,526百万円(前年同期比4.3%増)、経常利益は3,046百万円(前年同期比6.6%増)となりましたが、特別損失に479百万円の投資有価証券評価損を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,664百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製品事業部関連事業

建築関連製品の売上高は、当社の製品が採用された大型プロジェクトが好調に推移したことから、前年同期と比較し増加したものの、土木関連製品の売上高は、主要顧客が販売する市場が伸びなかったこと、更に、関連部材の製造開始遅延等に伴う着工遅れなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。一方、高強度ばね鋼線(I T W)の売上高は、海外での販売が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は16,201百万円(前年同期比3.8%増)となりましたが、輸送費などのコストが増加したため、営業利益は1,056百万円(前年同期比4.6%減)となりました。

なお、第2四半期連結会計期間から、新商品であるダブルスタークの製造販売を開始しております。

② I H事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、自動車向けや工作機械向けの受注が堅調に推移したこと及び新規事業であるマイルド浸炭事業を順調に進捗させることができたことなどにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、自動車部品関連の売上高は、前年同期並みの売上を確保できました。

建設機械部品関連の売上高は、国内や中国での販売が伸びたことにより前年同期と比較し増加いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高は、国内や韓国での販売が伸びたことにより前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は22,720百万円(前年同期比17.1%増)、営業利益は1,427百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は97百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は42百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は82,081百万円(前連結会計年度末比0.0%減)となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したものの、投資有価証券が減少したことなどによりです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は16,140百万円(前連結会計年度末比0.9%増)となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したことなどによりです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は65,941百万円(前連結会計年度末比0.3%減)となりました。この主な要因は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が減少したことなどによりです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、「平成30年(2018年)3月期 決算短信」(2018年5月10日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりません。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,110	13,512
受取手形及び売掛金	12,293	10,928
電子記録債権	3,907	4,795
商品及び製品	940	1,050
仕掛品	1,820	2,076
原材料及び貯蔵品	1,844	2,055
その他	1,516	2,185
貸倒引当金	△29	△24
流動資産合計	36,404	36,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,567	8,932
機械装置及び運搬具（純額）	10,224	11,853
土地	9,933	9,933
建設仮勘定	1,948	1,127
その他（純額）	305	398
有形固定資産合計	30,980	32,245
無形固定資産		
借地権	744	691
のれん	1,282	1,135
その他	152	142
無形固定資産合計	2,179	1,968
投資その他の資産		
投資有価証券	11,825	10,585
長期貸付金	39	35
退職給付に係る資産	103	88
その他	659	659
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	12,546	11,287
固定資産合計	45,706	45,501
資産合計	82,110	82,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,046	2,922
電子記録債務	5,083	5,174
短期借入金	1,478	1,423
未払法人税等	672	346
賞与引当金	619	387
その他	2,696	2,367
流動負債合計	13,597	12,621
固定負債		
長期借入金	785	2,255
退職給付に係る負債	899	891
その他	707	371
固定負債合計	2,392	3,518
負債合計	15,989	16,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	4,758	4,724
利益剰余金	48,521	49,242
自己株式	△2,461	△2,462
株主資本合計	57,236	57,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,541	1,037
為替換算調整勘定	1,093	581
退職給付に係る調整累計額	△66	△20
その他の包括利益累計額合計	2,568	1,598
非支配株主持分	6,315	6,419
純資産合計	66,120	65,941
負債純資産合計	82,110	82,081

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	35,096	39,019
売上原価	27,084	30,517
売上総利益	8,011	8,502
販売費及び一般管理費	5,590	5,975
営業利益	2,421	2,526
営業外収益		
受取利息	36	50
受取配当金	147	158
持分法による投資利益	114	52
為替差益	10	21
その他	161	278
営業外収益合計	470	560
営業外費用		
支払利息	26	32
その他	6	7
営業外費用合計	33	40
経常利益	2,858	3,046
特別利益		
段階取得に係る差益	1,221	—
投資有価証券売却益	261	0
固定資産売却益	0	2
受取保険金	22	286
補助金収入	7	8
特別利益合計	1,513	296
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	29	26
減損損失	1,134	—
投資有価証券評価損	—	479
災害による損失	—	9
その他	—	6
特別損失合計	1,165	523
税金等調整前四半期純利益	3,205	2,820
法人税等	866	784
四半期純利益	2,339	2,035
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,010	1,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	328	371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	788	△504
為替換算調整勘定	287	△560
退職給付に係る調整額	69	45
持分法適用会社に対する持分相当額	83	△138
その他の包括利益合計	1,229	△1,157
四半期包括利益	3,568	878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,197	693
非支配株主に係る四半期包括利益	371	184

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,601	19,400	35,001	94	35,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	3	—	3
計	15,601	19,403	35,004	94	35,099
セグメント利益	1,107	1,270	2,377	43	2,421

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,377
「その他」の区分の利益	43
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,421

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,201	22,720	38,921	97	39,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	6	—	6
計	16,201	22,727	38,928	97	39,026
セグメント利益	1,056	1,427	2,483	42	2,526

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,483
「その他」の区分の利益	42
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,526

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。